

MOA ファームは、袋地区を拠点に農作物を生産・販売している事業所です。畑のべ面積はエコパーク水俣とほぼ同じ広さ。まごころ込めて作った農作物を家庭に提供し、私たちの食を支えています。

みなまた 第16巻 元気な 事業所ファイル

株式会社
MOA ファーム

所在地 水俣市袋 2 9 7 5
設 立 平成21年12月
従業員数 5人
事業内容 農産物生産・販売



常務
田畑 和雄 さん

当事業所は、水俣の特産品でもあるサラたまちゃんをはじめ、かぼちゃ、米などの農産物の生産・販売をしています。

メインで生産している農作物は、サラたまちゃんです。主にJAを通して、皆さんの食卓に提供しています。水俣だけではなく、関東にも出荷していますよ。機械で生産する工業製品に比べ、農業は自然が相手ということもあり、継続して生産・経営することは難しいです。しかし、当社は設立当初の社員が継続して働いており、30代から60代までの幅広い年代の社員が働いています。

社員には、「『こそこそ』ではなく『こそこそ』動け」、「余分な仕事をしろ」と伝えていきます。そうすることで他の農家とのつながりも生まれます。農業では、その地域に高い技術を持った人が一人いても地域おこしにはつながりません。つながりや

同じ目的意識を持つことが大切です。サラたまちゃんの栽培・ブランド化も、JAあしきたサラたまちゃん部会すべての生産者が同じ方向見て取り組んできたからこそ長年続く人気の商品になりました。

また、「食育」の一環として、毎年、市内の小中学生にサラたまちゃんの植え付け・収穫の体験を行なっています。この体験を通して、子どもたちに、普段当たり前前に食べている「食べ物」のことを少しでも考えてもらえればと思っています。これも長い目で見れば、後継者育成につながります。

農家は、食べてくれる人、消費者のことを考えて作っています。消費者も生産者のことを考えながら食べてほしいですね。消費者が農家を育ててくれることで、私たちもよりおいしいものを作ろうと頑張れます。農家も高齢化が進んでいますが、社員が継続して働いてくれる会社になれるよう、まだまだ努力していきます。

※「まめに」という意味。

玉ねぎや水稻の栽培を通じて、自然と向き合う農業の魅力を体感できる環境です。季節によって変わる畑の表情や、作物が育つ過程に関わることで、農業ならではの面白さを実感できます。環境に配慮した取り組みも進めており、食や自然に関心のある学生に、農業の奥深さと未来への可能性を感じてもらえる職場です。



サラたまちゃん植え付け体験